



ピクトグラム+AIで、質の高いケアを。

Picto-BIで創る 介護の未来

PICTO CARE

Agenda

01. 私たちについて

02. 解決したい課題

03. **Picto-BI**で解決！

04. 強みと展望

05. 実績と成果

06. 共に未来へ

私たちについて

PICTO CAREの事業内容



01 介護業務改善の アプリ開発・販売

介護現場の業務時短アプリ「Picto-BI」の開発・販売を行っています。



02 介護施設 コンサルティング

現状についてヒアリングし、生産性向上を目的としたアドバイスを行っています。



03 学生を対象とした 介護の魅力啓発事業

自治体主催イベントへの登壇や、介護施設ボランティア部の運営を行っています。

メンバー



代表取締役

田中 亜利砂



看護師歴10年
埼玉医科大学病院医学研究科博士課程
パーソルで新規事業開発に従事



アドバイザー

岩瀬 哲



埼玉医科大学病院
緩和医療科・救急科教授



Webディレクター/エンジニア

市原 拓



株式会社BASSDRUM
(LEXUS HPディレクションを担当)

起業のきっかけ

外来看護師、病棟看護師として勤務

事務仕事に追われ、
がんの告知場面や終末期の過ごし方の相談に乗れない状況にジレンマを感じた。
目の前には早く手を差し伸べるべき患者さんがたくさんいるのに、
多くの時間が事務作業に奪われていることに気づき、この状況を変えたいと強く思う。

順天堂大学大学院、埼玉医科大学大学院へ進学し研究

生産性の高いケア届けられるシステムを開発したいという思いを胸に大学院へ進学。
介護業務改善に向け、ピクトグラムを活用したアプリの研究開発を行う。

株式会社Picto Care設立

研究だけでは社会は変わらないと感じ、起業。



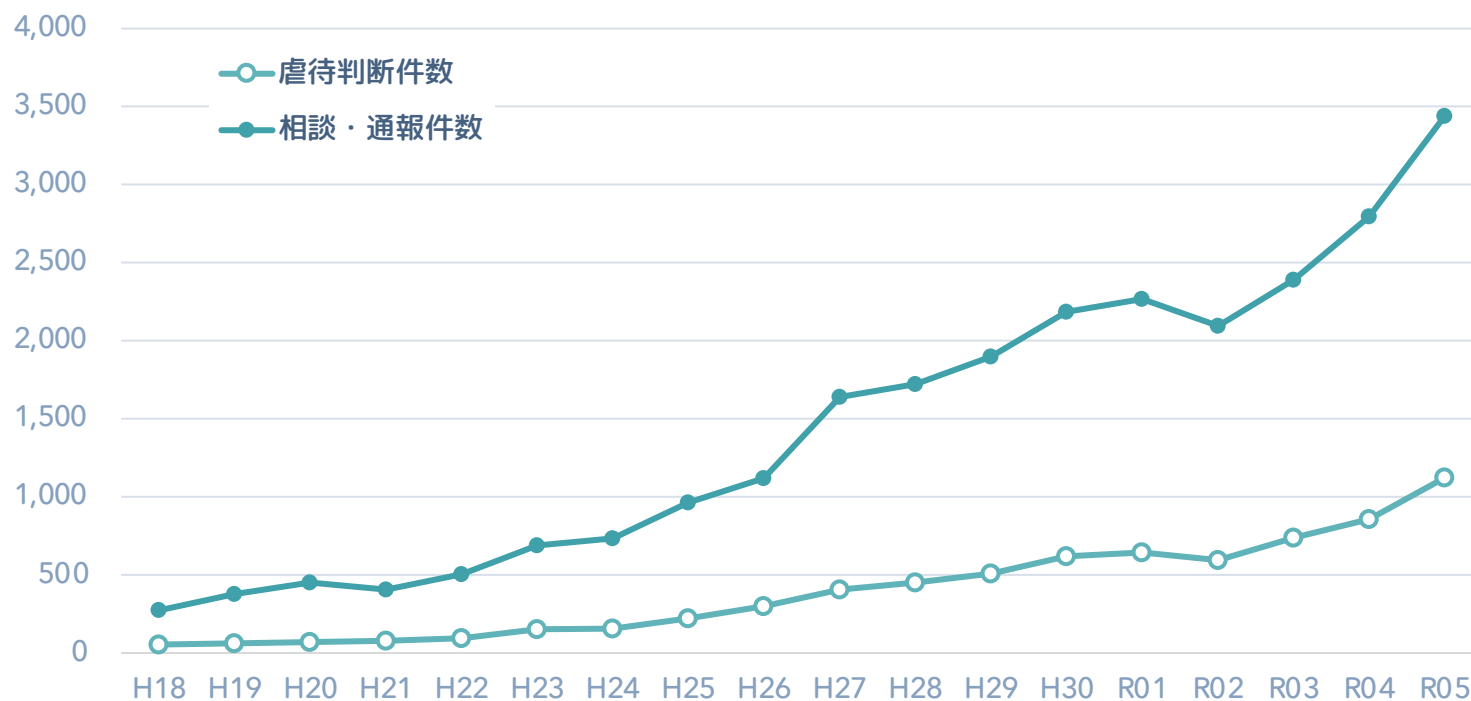
解決したい課題

介護業界が抱える課題

スタッフの余裕のなさやADL評価の活用不足などが“介護の質低下”に

例) 養介護施設従事者等による高齢者虐待の相談・通報件数と虐待判断件数の推移

※ 介護老人福祉施設、居宅サービス事業等の業務に従事する者



虐待の増加

会話・ふれあいの減少

「介護の質の低下」の主要要因

スタッフの余裕のなさ

人材不足

介護のイメージが悪く、採用につながりにくいのが現状で、外国人スタッフの積極採用をしていない施設もまだ多い

膨大な事務作業に埋もれる日々

事務作業による残業で、本来利用者のケアに使うべき時間が奪われ、モチベーション維持が難しく疲弊感が増す

ADL評価※の活用不足

データ収集が困難

ADL評価方法を習う機会がなく、どの程度できるかの判断もスタッフごとにばらつきがあり、データの信頼性が低い

データ活用の仕組みがない

せっかく評価しても、分析やフィードバックにつながる仕組みがないため、今後の方針や対策が立てづらい

※ ADL評価とは

ADL評価（Activities of Daily Living評価）とは、食事・移動・入浴・排泄など、人が生活するうえで欠かせない動作を「どの程度自立して行えているか」を数値化・記録する仕組みです。介護やリハビリの現場で、利用者の自立度を把握し、支援内容を決めるための基礎データとなります。施設の全利用者を評価することで、施設に定期的に報酬が入ります。

		点数	質問内容	得点
1	食事	10	自立、自動食などの装置可、標準的時間に食べ終える	/10点
		5	部分介助（たとえば、おかずを切って届かくしてもらう）	
		0	全介助	

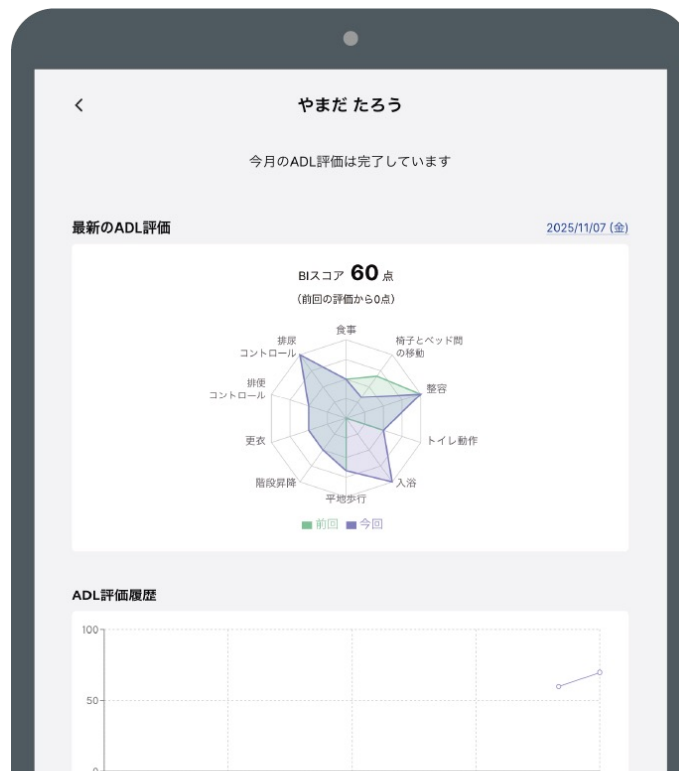
Picto-BIで解決！

解決策：Picto-BIアプリの活用概要

ピクトグラムでの 簡単なADL評価



利用者の経時変化を グラフで見える化



ご家族向けレポートや 介護計画をAI生成



ADL評価の実用化につながる！

スタッフの余裕につながる！

解決策①：ピクトグラムでの簡単なADL評価



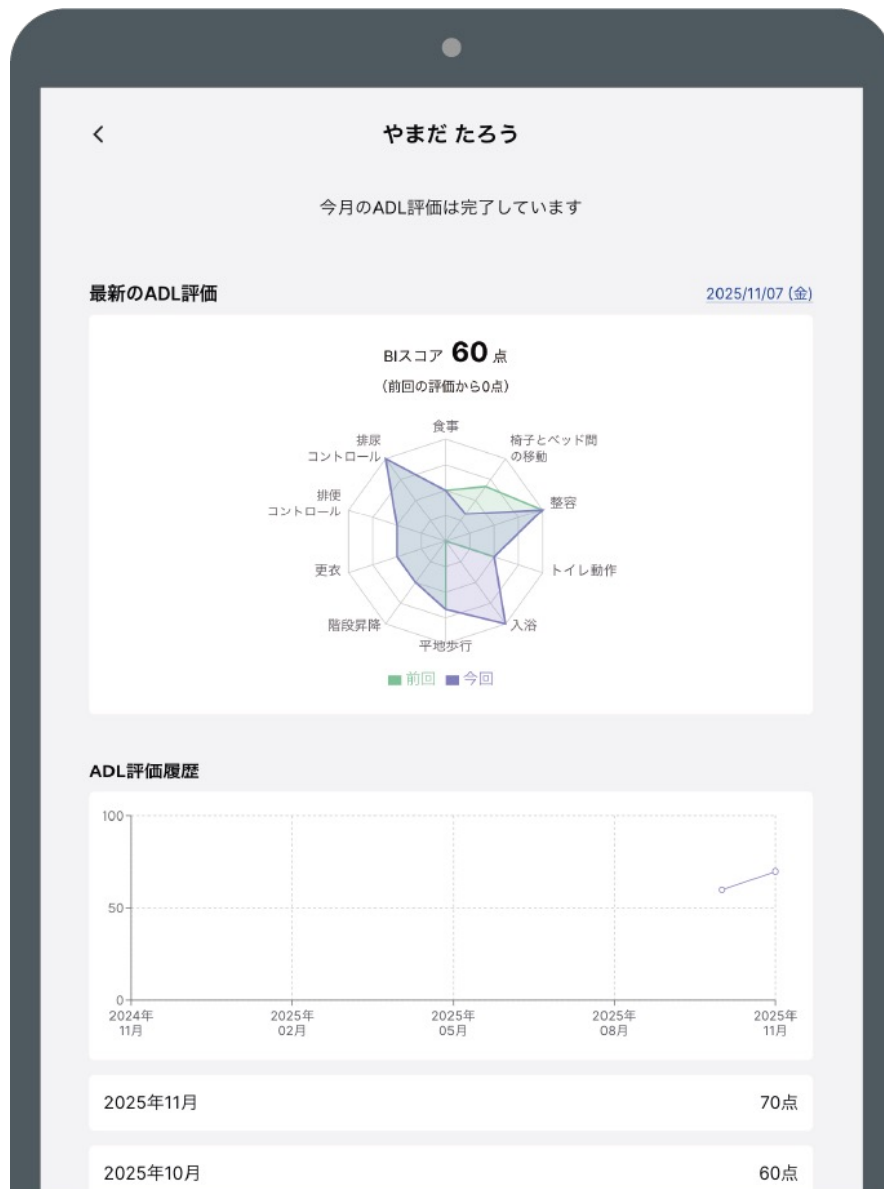
らくらく評価

ピクトグラムをタップするだけなので、評価の敷居が下がる！

精度の向上

絵で理解できるため、読解力の差による評価のばらつき解消に！

解決策②：利用者の経時変化をグラフで見える化



ケアの方向性が明確に

グラフで状態が一目瞭然になり、
今後のケアの方針が立てやすく！

データで簡単管理

データ管理なので、
経時変化を確認する際の検索や保管が楽ちん！

解決策③：ご家族向けレポート/介護計画をAI生成

ケアアドバイス 家族向けコメント

長期目標（3か月）

現在のBI70点を維持し、転倒や大きな健康トラブルなく穏やかに生活できる。

短期目標（1か月）

食事：自力摂取を継続し、1食20分以内を目安にほぼ全量摂取できる。

歩行：毎日10m×2往復を職員見守り下で安全に実施できる。

排泄：3時間ごとの声かけ＋トイレ誘導により、失禁頻度を現状から悪化させない。

入浴：週2回、安心して入浴でき「気持ちいい」と笑顔が見られる。

ケアアドバイス 家族向けコメント

ピクトケア様は、馴染みの職員や周囲の利用者様との何気ない会話を楽しまれ、穏やかにお過ごしです。

最近は歩行や階段昇降、更衣など「自分でやってみる」場面が増え、できたときには柔らかな笑顔を見せてくださいます。

好きな音楽を流すとリズムに合わせて口ずさまれ、入浴後には「気持ちいいね」とほっとした表情を浮かべられます。

私たちは、ピクトケア様の力を大切にしながら、転倒予防や体調管理にも気を配り、これからも安心してその方らしく過ごしていただけるようチームで支えてまいります。

事務作業時間

80% 削減

直接的なケアに
集中できる

時間と心に
余裕ができる

Picto-BIの現場での効果

「Picto-BI」の導入により得られる効果を実証！

埼玉医科大学と臨床試験を実施

- 日本語の得点評価と高い整合性を確認
- 評価にかかる時間が15%減少
- 「より利用者への理解が深まった」等の声あり

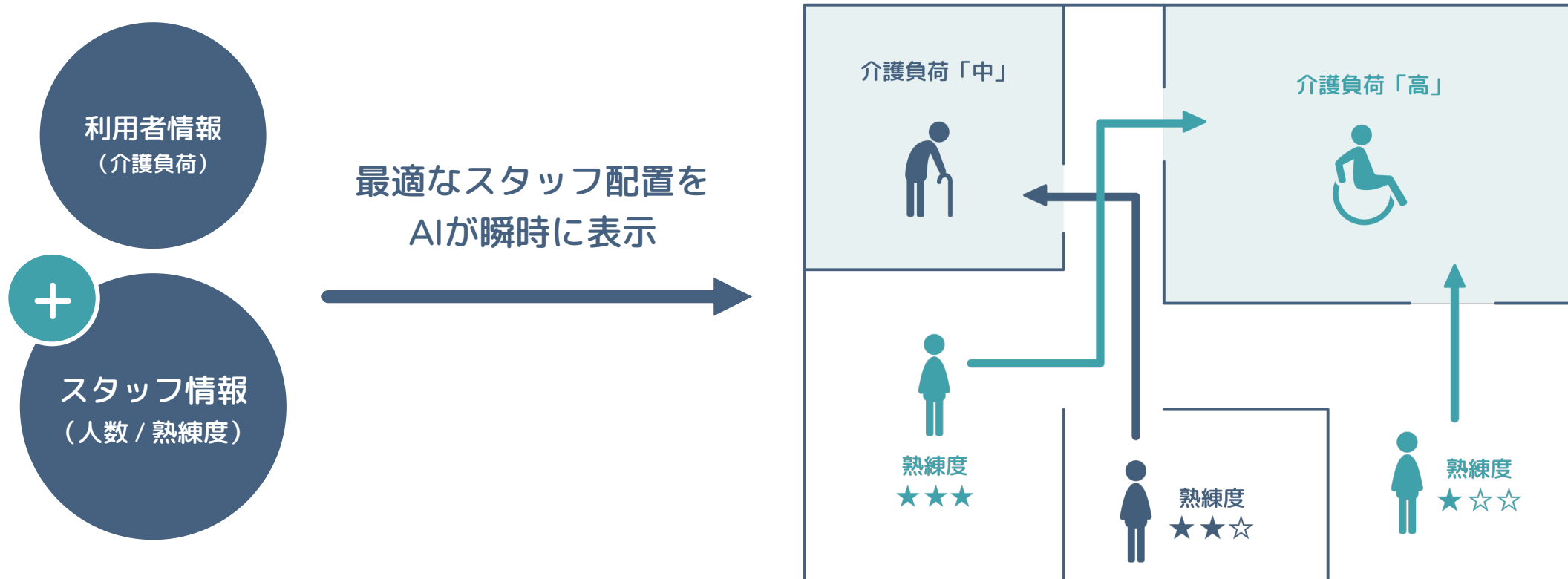
介護スタッフや地域住民約200名に ヒアリングを実施

- ピクトグラムで現状がわかりやすく、
どんな対応が必要か把握しやすい
- すぐに評価できるため、ケアへの時間ができる
- アプリでデータ化することで明瞭化されて
わかりやすく、介助の仕方も見えてくる

Picto-BIの今後

＼新機能追加予定！／

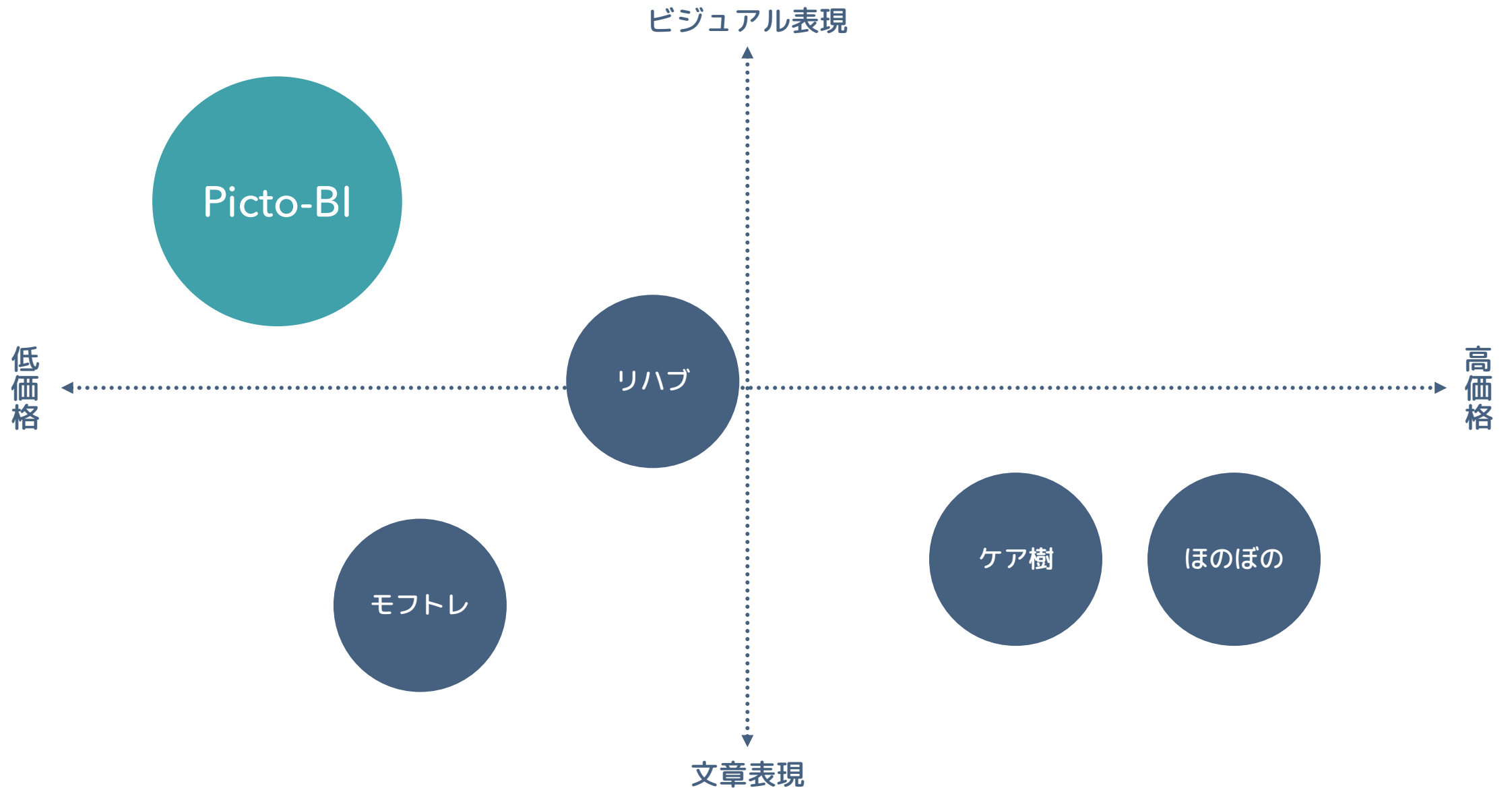
Picto-BIを導入すれば、緊急時もスムーズにスタッフ配置の確認が可能に！



※ 現段階ではこのような機能を考えておりますが、少しずつ機能拡張していければと考えています。

強みと展望

Picto-BIのポジション（競合分析）



市場規模

今後、アジアを中心とした海外展開も想定しており、

規模は更に拡大予定！

TAM : 全国の特養＋通所

SAM : 首都圏の特養＋通所

SOM : 首都圏シェア 5 %



SAM
72 億円

TAM
220 億円

ビジネスモデル（通常プラン）

介護事業所にも報酬が入る仕組み



※ 報酬はADL維持等加算Ⅱ取得の場合を表示

※ アプリ利用料は利用者1名につき¥300/月で、施設単位で導入可能

ビジネスモデル（AI機能付きプラン）

AI機能をプラスすると、高い費用対効果を実現



※ 人件費25万/月削減：当社調べ（利用者が50名の施設にて試算）

※ 報酬はADL維持等加算Ⅱ取得の場合を表示

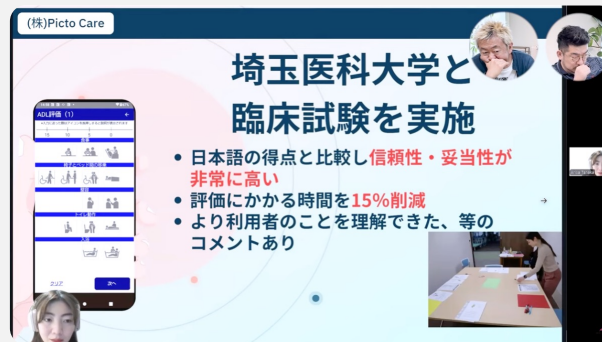
※ AI機能付きプランの利用料は、「利用者1～50名：¥20,000/月」「利用者51～99名：¥40,000/月」「利用者100～149名：¥60,000/月」と施設の利用者数で変動

実績と成果

メディア出演・講演



【YouTube】田中雅之氏の
スタートアップチャンネル



【YouTube】田中雅之氏・伊藤洋一氏の
メンタリングチャンネル



「ふくしまふくし未来キャンパスサポーター講師」就任

特許取得

特開
2024-160702

受賞歴



TOKYO SUTeam2025
協定社賞



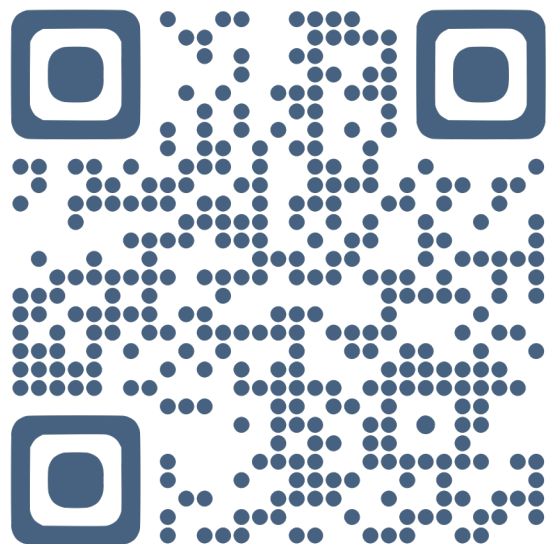
福島ベンチャーアワード2024
最優秀賞



大阪公立大学
ヘルステック最優秀賞

共に未来へ

より良いケアを提供できる未来を創造するため、
一緒に、Picto-BIアプリの世界展開を目指しませんか？



少しでも興味をお持ちいただけましたら、
お気軽にお問い合わせください！